

2011 年度富士山測候所「活用計画書」作成にあたっての注意事項

2010 年 12 月 1 日

NPO 法人富士山測候所を活用する会

本計画書は公募研究の採否を決定する審査資料として用いられます。下記の注意事項に従って記入して下さい。

※用紙は NPO のホームページ(<http://npo.fuji3776.net/>)からダウンロードして下さい。

※なお、**黄色の網がけ部分**についてはホームページに掲載させていただくことにご理解をお願いします。

注意事項

1. 応募者氏名、所属、共同研究者、実施テーマ、実施の概要

日本語表記、および英語表記 (Full Name) の両方を記入してください。所属機関の名称などは省略しないようにしてください。E-mail アドレスをお書き下さい。

2. 実施目的等

(1)実施目的、(2)期待される成果、(3)富士山測候所を使うことのメリット(富士山測候所を使う理由)、(4)富士山測候所の利用経験について具体的に記載してください。

※過去 4 年間の経験から、初めての利用者は富士山頂の特殊性の理解に時間がかかりトラブルが多いことが分かりました。研究グループに経験者を含むかまたは前年に現場を見て(出来れば 1 泊して)経験されることをお勧めします。なお、採否の選考にあたってはこの点を留意します。

3. 実施方法

山頂での研究実施方法を具体的に記述してください。使用する機材、消費電力、設置のための面積を該当欄に記入してください。

4. 予算計画(負担金)

施設利用の基本料は安全管理、電源の維持、施設の維持などの経費の一部を負担していただくものです。また、山頂の生活にかかわる経費は各自の自己負担となっています。予算は合計金額のみ記載し、別添の研究計画予算計算シート(Excel)も提出ください。これらの経費の支出方法についても具体的に記入してください(大学運営費、科学研究費補助金、私費など)。なお、表の数値は 2010 年のもので若干の変更があることをご了解ください)

5. 安全管理体制、緊急連絡先

それぞれについて、具体的に記述してください。

また、環境庁、文化庁等の許認可が必要な場合は、その旨、安全管理体制欄に記述してください。なお、原則として、許認可は研究者が各自で取得していただくことになっています。

備考

研究実施直前までに登山する方の全員について、年齢、病歴、携帯電話の番号を申告いただきます。これらの個人情報については厳重に管理し、事故、病気、遭難などの非常時のみに使用します。(登山者リスト、ブルの荷上げ物品リストを別途作っていただきます)